

かなえ

第 58 号(平成 29 年 2・3 月)

医療法人社団鼎会 三和病院 ・ 八柱三和クリニック

千葉県松戸市日暮7-379 047-712-0202 松戸市日暮1-16-2 047-312-8830

<http://www.sanwa-hsp.or.jp> <http://www.y-sanwa-cl.com>



1月の千駄堀池

今日は風が強い。

ヒメガマの花穂がちぎれて雪のように飛び散ってゆく。

1月の下旬、三和病院の帰りに21世紀の森公園千駄堀池に来た。

池は北風で波立ち、気温も低い。(5℃)

池につき出た東屋ではバードウォッチング観察者達が単眼鏡で観察中。

スケッチはこのあたりで描こう。

カフェテラスで昼食。きのこの和風パスタを注文。コーヒーもついたランチを楽しむ。

寒い風は苦手だが対岸のサザンカの花を楽しみ、北風の公園を後にした。

2017年1月23日

絵と文 : 松戸市在住 水彩画家 菅谷功 氏

高齢者の看取りとかかりつけ超高齢者社会(3)

在宅医療(訪問診療)医の必要性

自宅のベッドの中で「先生、ご無沙汰します」、と笑顔で迎えてくれる。3日前に特養(特別養護老人ホーム)あすなろで会ったばかりなのに。彼は88歳で10年くらい前からの認知症はあるが、しかし進行はゆっくりである。歩けなくなったので介護は昔面倒をみたという年下の女性が行なっていて週に何日か特養に行く以外は自宅で過ごす。この家に訪問診療に来るようになってもう一年になるだろうか。彼は病院にいるときには「問題児」であった。言うことを聞かないし、いつも怒りっぽく、ぶすっとした顔しかせず、看護師たちも敬遠気味だった。家に帰ってからの彼は明るい。誰でも自分の家はよいものなのである。

私が訪問診療(在宅医療)に目覚めたのは3年先輩の大岩先生のスライドを見てからである。彼は長年肺がんの患者を切った貼ったのバリバリの呼吸器外科医であった。その彼が突然東松戸病院を辞めて西千葉で在宅ホスピスを始めたのである。そして彼の紹介する写真に出てくる患者さんたちの顔はみんないきいきと明るい顔をしていた。私自身東松戸病院に勤めた折、義務として在宅医療に週一回「行かされた」。しかしそれを何度かやっているうちに、これこそ医の原点であると思えるようになってきたのである。

病院という特区では医療優先なのは当然で、命を守るという錦の御旗の下に、患者さんはアウェイとして本人の生活は二の次にされる。病院ではまず自然死は起こらない。呼吸停止、心停止を見れば放置することは許されず、反射的に介入するように教育されている医療者であふれているからである。逆にいえば、自然の死というものをほとんど

の医療者は知らないとさえ言える。しかし在宅医療はまさにホームでの医療であり、患者さんの生活第一で、医療は2番手になる。酒たばこが生活のすべてではないが、それさえも許容され、普段の生活の中で医療が行われる。そしてそこでは死ぬということさえ負け戦にはならない。癌を含め亡くなることを本人も家族も理解し受け入れているからである。それに対し医師も無理な介入はしない。



高林克己医師

三和病院で在宅医療を始めて1年が過ぎようとしている。その僅かな期間に私は大岩先生と同様にたくさんの人たちの笑顔を見ることができた。みんな入院中より明るい顔になった。何人かの患者さんを最期まで家で看取ったが、みな安らかに幸せそうに亡くなった。もちろん途中で病院に入院することもあるが、実は最期まで在宅医療を受けることのできる患者さんはとても幸せな人たちなのである。ただそのことに気づいている人たちは、まだまだ少ない。

当院では現在高林と渡邊(聡枝)医師が毎週訪問診療をしています。ご希望、あるいはご質問のある方は、事務までどうぞ遠慮なくお申し出ください。どなたでも受け付けることができます。

医療法人社団 三和病院
顧問 内科 高林 克己

節分の献立

2月節分の献立です。



- ・太巻きとお稲荷さん
いわしつみれ揚げ
 - ・すまし汁
 - ・春菊のおひたし
 - ・豆乳プリン(黒蜜)
- お稲荷さんの油揚げは手作りです。(〇)

掲載されました

月刊「新医療」3月号に
三和病院が掲載されました。



機器、情報システム、設備
明日の病院インフラを考える
ための雑誌です



掲載記事より

閉院となった病院の
医師が医療提供力が
低下した地域医療を
守るために開設した
三和病院。
その嚆矢となるクリ
ニックの開業から新院
竣工へと続く道程は、決して平坦ではなかった。
開院2年半が経過し、病院関係者の努力は今、
地域の信頼となって報われようとしている。
選者／考察者岩堀幸司(建築家)

医師の変更のお知らせ

三和病院

= 4月からの医師変更 =

【内 科】

水曜日 午前

竹島英之 医師 → 齋藤美奈子 医師

水曜日 午後

藪下寛人 医師 → 天野辰哉 医師

木曜日 午前

齋藤美奈子 医師 → 属増晃一 医師

金曜日 午前

砂金秀章 医師 → 福田健介 医師

【形成外科】

金曜日 午後

大久保ありさ 医師 → 末貞伸子 医師

【乳腺外科】

月曜日、火曜日、金曜日、土曜日 午前

阪口志帆 医師 → 高橋友里 医師

八柱三和クリニック

【内 科】

月曜日 午前午後、火曜日 午前

木暮勝広 医師

*4月からは火曜日も午前午後の診療になりますのでよろしくお願いします。

= 4月からの医師変更 =

【内 科】

火曜日 午後

鈴木隆弘 医師 → 木暮勝広 医師

水曜日 午後

竹島英之 医師 → 渡邊かおる 医師

土曜日 午前

天野辰哉 医師 → 藪下寛人 医師

～ お知らせ ～

3月の乳腺外科外来のお知らせ

3月につきましては8日水曜日より **乳腺外科 水曜日 午前** に 阪口医師が外来診療を行います。他の曜日にご都合のつかない方、阪口医師の受診ご希望の方などご予約いただけますのでご利用ください。



院内での写真撮影や録音などについて

当院では個人情報保護のために、院内での許可のない写真撮影や録音などご遠慮いただいております。ご理解ご協力の程よろしく申し上げます。

糖尿病患者会「さくら会」のご案内

「三和さくら会」とはクリニック、三和病院に通院中の糖尿病患者さんやご家族、医療スタッフで作っている患者会です。患者会では患者さん同士の意見交換、ウォークラリーや他の患者会との交流会に参加しています。また、糖尿病専門誌「糖尿病ライフ さかえ」を毎月読むことができ、食事や運動のことなど様々な情報を得ることができます。

会費 3600円 (4月～翌年3月まで)

内訳： 日本糖尿病協会会員費 年2400円

千葉支部会費 年500円

その他諸経費 年700円

※途中入会の方は300円月掛けとします

入会希望の方は、お気軽にスタッフへお声がけください。

シャトルバス時刻表



	八柱駅発	三和病院発
8時	30, 50	40
9時	10, 30, 50	00, 20, 40
10時	30, 50	20, 40
11時	10, 30, 50	00, 20, 40
12時	30, 50	20, 40
13時	10, 30	00, 20, 50 [※]
	昼休み	※土曜日のみ運行の最終便
14時	20, 40	10, 30, 50
15時	00, 20, 40	10, 30
16時	20, 40	10, 30, 50
17時	00, 20	10, 30, 45 [※]

※この便は状況に応じて変更いたします

休診のお知らせ (3月・4月)

三和病院	八柱三和クリニック
<p>[内科]</p> <ul style="list-style-type: none">李 鍾碩 医師 4月20日(木) 4月21日(金) 4月22日(土) <p>[乳腺外科]</p> <ul style="list-style-type: none">渡辺 修 医師 3月25日(土) 代診 阪口志帆 医師	<p>[整形外科]</p> <ul style="list-style-type: none">吉田 圭一 医師 3月16日(木) 3月30日(木) 4月 6日(木) <p>[内科]</p> <ul style="list-style-type: none">神崎 哲人 医師 3月 1日(水)鈴木 隆弘 医師 3月21日(火)高林 克日己 医師 3月16日(木) (14:00～15:30 休診)4月20日(木)鈴木 明子 医師 4月 6日(木) 4月 7日(金)

医療法人社団鼎会基金へのご協力をお願いします。

現在までに多数の方々よりご協力をいただいております。地域に根差した医療活動を軌道に乗せること、入院患者の皆様の負担を軽減し病棟運用を効果的に行うために一層の努力を重ねてまいります。引き続き鼎会基金へのご協力をお願いしております。鼎会基金の詳細や募集要項等につきましては三和病院内 鼎会本部総務課 基金係までお問い合わせください。(TEL:047-712-0202)